

知立駅周辺 まち育て ワークショップ

振り返り通信 vol.01

第1回
知立駅周辺エリア
まち育てワークショップ
の報告です。

2022年
10月15日(土)
13:30~15:30



こんな地域が いいな

これからの知立駅周辺に対する
期待と不安を共有する



全5回ワークショップ

第1回 10月15日(土)
こんな地域がいいな
— これからの知立駅周辺に対する期待と不安を共有する

第2回 11月19日(土)
まち歩きで未来を想像しよう

第3回 12月10日(土)
未来のすごし方を創造しよう(1)

第4回 1月14日(土)
未来のすごし方を創造しよう(2)

第5回 2月18日(土)
未来のすごし方を創造しよう(3)

これから姿を大きく変える知立駅周辺エリアの未来をみんなで考え、暮らしやまちを豊かにするためのアイデアやアクションをつくる連続ワークショップ(全5回)がはじまりました。

10月15日に開催された第1回には、市民、学生、専門家、行政等、約30名が集まりました。駅周辺整備事業の概要を紹介したのち、参加者がグループにわかれ、希望や不安を分かち合い、まちの将来を考える第一歩を踏み出しました。



ワークショップの目的と新しい知立駅周辺エリアの概要

ワークショップの目的

「100年に一度のまちづくり」である知立駅付近連続立体交差事業の完了を10年以内に控え、知立駅周辺エリアが大きく生まれ変わりつつあります。しかし単にインフラが整備されただけでは、よいまちにはなりません。将来のまちで暮らし、育てる視点で、さまざまな取り組みをインフラ整備と一体的に進めることが大切です。このワークショップは、みんなが願う将来のまちの姿を描き、その具体的なアイデアを考えるとともに、多様な人や組織が力を出し合い連携できる関係づくりを目的としています。



1 知立駅周辺整備事業の概要

知立駅周辺エリアの整備事業は主に以下の4つの事業からなります。

- (1) 知立駅付近連続立体交差事業
- (2) 知立駅周辺土地区画整理事業
- (3) 移設駅周辺整備事業
- (4) 知立駅北地区市街地再開発事業

事業に伴い、駅周辺エリアでは、駅前広場や公園、歩道の広い街路など様々な新しい空間が生まれます。これらを生かしながら、未来の暮らしやまちを豊かにしていくことが重要となります。



主な事業の位置図



事業完成後のまちのイメージ



立体交差事業の完成イメージ

2 知立駅付近連続立体交差事業の整備スケジュール



まちづくりの参考事例を共有しよう

1

東海市太田川駅周辺地区【駅前広場】

— 知立駅と同様の鉄道高架事業で生まれ変わった地区



太田川駅周辺地区は、名鉄河和線及び常滑線の立体化に伴い 2012 年に竣工しました。高架化に伴う周辺区画整理事業により、東西駅前広場のほか、芝生広場や大屋根広場など様々な広場が整備されました。まちづくり会社「まちづくり東海」が広場の維持管理・運営し、休日には様々なイベントも行われています。

※出典) 東海市 HP

2

豊田市「とよしば」【暫定広場】

— 開発暫定地を活用した居場所づくり



「とよしば」は豊田市駅前再整備の過程で生まれた空地に、暫定的に整備された広場と建物からなる官民連携の公益施設です。建物の機能は飲食店、工作室、ギャラリー、スタジオ、スクールなど様々です。また建物には広場とつながるデッキが設置され、芝生の広場と一体的に日常的な居場所となっているほか、マルシェや地域のイベントも活発に行われています。

3

岡崎市「籠田公園」【公園】

— 公園のリニューアルによるまちの再生



籠田公園は岡崎市が進めている QURUWA 戦略の一部として 2018 年より「つどい・つながり・つづく」をコンセプトに再整備された公園です。公園内には芝生のグラウンドを中心に、複合遊具や噴水など子どもの遊び場が充実しているほか、ステージや屋根のある休憩所があり、平日

も休日にも幅広い楽しみ方ができる場所になっています。また、周辺に NEKKO OKAZAKI などの新しいショップが複数オープンするなど、周辺地域への波及効果もあり、注目を浴びるエリアとなっています。

※出典 (左) QURUWA 岡崎、(右) NEKKO OKAZAKI

4

名古屋市中区錦二丁目「喫茶七番」【再開発事業】

— 再開発事業の足元にできた広場とまちづくり拠点



名古屋都心部に位置するマンション商業複合の再開発事業です。再開発の中で、地域貢献の空間を整備し、エリアマネジメントのソフトの仕組みをしかけた事例です。喫茶や広場、レンタルスペースがあり、日常的な交流の場となっています。錦二丁目まちづく

り協議会をはじめとする地元が主体となり錦二丁目エリアマネジメント(株)を立ち上げ運営しています。

期待の木

「期待の木・不安の木」に寄せられたつぶやき集です
グループワークでは、知立駅周辺の整備事業や、今後についての期待と不安を分かち合いました。4 グループに分かれて意見を出し合い、各班ごとに「期待の木・不安の木」をつくりました。本通信では、すべての話題を網羅して紹介できるように、全グループの意見をまとめて整理・掲載しています。

グループワークの様子



①1人1人話します

駅を起点に知立のまちに人が流れ、周辺で働く人も知立に降り立つような回遊が生まれるようにしたい。



②グループで共有します

乗り換えだけではなく、駅ですぐす、憩う空間にしたい！



③発表して全体で共有します

「自慢できるまち」を行政・市民・企業、みんなで作るという土壌を育みたい！

市民の愛着がある

- ・自慢できるまち

回遊性がある

- ・弘法さんや知立神社、八橋かきつばた園がつながるまちあるき
- ・歩いていて楽しい、飽きない、ずっと歩いていたと思えるまち
- ・駅前公園から新地公園の間、行き来が楽しくなるといい
- ・アプリでタクシーが呼べるといいな
- ・Google マップでミニバスのルート検索ができたらいいな

知立の顔となる駅前空間

- ・駅から降りてみたくなる、訪れてみたくなる
- ・駅前に観光案内所があったらいいな
- ・知立市の顔として自慢できる駅前空間
- ・途中下車して遊ぶまち
- ・他市からも多くの人が集まる街
- ・駅を中心におしゃれなお店が多く集まり、過ごしやすいまち
- ・乗り換え駅だけでなく、小一時間でも滞在したいと思うまち
- ・知立のまちに行くために、バスターミナルへの誘導をわかりやすく
- ・交通結節点としての知立の強みを活かしてバスターミナルを強化を
- ・公共交通利用者も多いので、電車やバス待ちの時間を過ごせる場所や機能
- ・物理的な面と、まちの雰囲気面の2つの意味で明るい駅

若い世代が定住したくなるまち

- ・子どもと楽しめるイベントが開催されたいいな
- ・小さな子どもと休憩できるスペースができるといいな
- ・若者が集うことで地域活性化するといいな
- ・公園や広場が増えることで子どもが楽しく、家族も住みよいまちになることに期待

賑わいがある

- ・にぎわいがあるなど良い意味で全国的（世界的）に有名になる
- ・外から人がやってくる集客性のある場所にある
- ・アパレルやアミューズメント（映画館など）が入るとよい
- ・おしゃれなカフェ・飲食店とかが欲しい
- ・ランチを食べられるような飲食店が増えるとよい
- ・学生が気軽に寄れるスポット
- ・堀切公園を健康公園に。屋外アスレチック施設、ヘルスチェックセンターがあるとよい
- ・踏切ゼロで人の行き来が生まれやすくなる
- ・昼間人口の増加

きちんと稼ぐエリアにしたい

- ・交通の要衝であることを生かして人口・商業・経済を集積させ、賑わいだけでなく、きちんと稼げるエリアになるとよい
- ・知立駅は近隣の市へのアクセスが非常によく、学生や会社員などの乗り換えが多い。この人たちを呼び寄せたい
- ・創業する企業の増加

新しいものが生まれる場

- ・新しいモノ、コトが生まれる、クリエイティブな場所に
- ・面白い、楽しい、健康、未来を感じる、先進的なまち
- ・脱炭素社会に合わせたカーボンニュートラルを体現した空間
- ・趣味を通じて人とつながることができるまちにしたい
- ・今までと違う形態のビジネスができるまちに
- ・人がたくさん、物がたくさん⇒さらに可能性が広がる

多様性と包摂性

- ・いろいろな立場の人（老若男女など）が共存できる場所
- ・家族が楽しめる大きな公園
- ・高齢者と、子どもの使用が両立できる公園
- ・障がい者に優しい場所
- ・若者が集まる、お年寄りも集まる、子どもの笑顔も溢れるような場所
- ・多文化との共生（海外の文化、言語ツール）

緑が多く憩いたくなる広場

- ・人が集まる駅前広場
- ・雨でもイベントが実施できる広場があるとよい
- ・待ち合わせ場所として有効活用できるような駅前広場
- ・作りこまれたハードではなく、シンプルにベンチや自販機、可変的なファニチャーでよい
- ・SNSを生かした魅力発信ができるような映える場
- ・自然を感じる、グリーンインフラの活用
- ・魅力的でキレイな街並み

安心・安全で歩きやすいまち

- ・コミュニティ道路のように歩行者が車を気にせず歩ける空間のある駅前
- ・雑草や歩道幅を気にせず、安心して歩ける安全な道路（広い歩道）が欲しい。くるま優先からひと優先の空間へ
- ・電柱のない道路（地中化）と見晴らしの良い駅前
- ・歩道橋の建設
- ・高齢者も安全に飲みに行けるまち

利便性の向上

- ・自転車置き場が近くなる、高架下にできるともっとよい
- ・浜松市では高架下に無料の駐輪場が整備されている、利便性の向上に期待する
- ・道幅や歩道設置により車のすれ違いのための手間がなくなる
- ・開かずの踏切がなくなり、移動時間がスムーズかつ短縮される

日常的な居場所

- ・地域住民の方が日常的に利用できる、時間を過ごすことができる場所がある
- ・大学生がバスの待ち時間を有効に利用し、暇をつぶせるところになるとよい
- ・そこに行くと「誰かいる」と期待できる場所
- ・友達と気軽に集まれるお店が出来るとよい
- ・目的が無くても楽しそうだから立ち寄ってみようと思える空間

不安 の木



高齢者や若者、子育て中の人など、
いろんな人が共存、みんなが納得
するまちって作れるのだろうか？

知立駅を目的に人はくるの？

- ・これだ！という若者に対する象徴が乏しい。何をしてすごすの？どこに行ってるの？
- ・仕事の通勤、学校の通学以外の人が駅に集客してもらえるのか
- ・駅前にシンボルとなるものがない
- ・単なる通過駅にならないか

「魅力」「にぎわい」の定義は人によっては違うのでは？

- ・誰もが思う魅力あるまちづくりとなるか？
- ・少子高齢化社会における「にぎわい」の定義やありかたは？
- ・50年後、100年後にも魅力があるまちの姿は、どんなまち？

多様な人の価値観は共存可能？

- ・相反する立場の人との共存や棲み分けが出来るのか？喫煙者と子育てされている家族。高齢者と若者など
- ・そこに住む人にとって「にぎわい」は、外から来る人にとっての「にぎわい」と一致するのか？生活空間が荒らされるなどの反応を受けないか？
- ・飲み屋ばかりが出来ることで、夜にガヤガヤしない？周辺住民にとっての騒音・苦情の原因にならない？
- ・若い人から高齢の方まで全員のための施設があるか？
- ・平日昼の利用状況・昼間人口が心配
- ・居酒屋ばかりで近寄りやすいイメージが残るのでは？

「地域全員で考える」は市民に浸透する？

- ・広場をつくっても、利用者が本当に集まるのか不安
- ・新しいまちに人が留まるのかどうか？
- ・知立市の商業者は、どのように考えているのか？市民は商業者の意見を聞いてみたい
- ・まちづくり株式会社は、まちづくりの担い手としての期待や責任を受けるようで、すごいプレッシャーを感じている
- ・建物や・設備の運営、維持管理は誰がやるのか

駅利用者だけでなく、他のモビリティとの接続は？

- ・周辺住民、知立市民にとって駅周辺は車でのアクセスがしやすいのか？
- ・駅に毎日来る通勤・通学者は歩き？自転車？バス？車？うまく共存できるのか？
- ・駅に迎えにくる車のロータリースペースはどうなるんだっけ？
- ・駐車場や駐輪場はどうなるの？十分なスペースは確保できているの？
- ・駐車・駐輪スペースの不足
- ・自動車の渋滞

世代交代しても持続可能か？

- ・一時的な賑わいにならないか
- ・時代に合わせたトレンドを取り入れていけるか

コロナの影響とどう向き合う？

- ・ 出店したお店がコロナの影響で撤退してしまわないか不安
- ・ コロナウィルスの拡大により利用者が減少

歴史と再開発の共存はできるの？

- ・ 昔からあるものがないがしろにされないか？東海道や灯籠など歴史的なもの、景観、地域コミュニティのつながりなど
- ・ 今あるお店、昔からあるお店がどうなるのか？つづき屋さんは新設道路の予定地にあるけど、どうなるの？なくなってしまったら、「歴史ある知立市」の魅力が失われてしまわないか？

土地をどう利用する？

- ・ 限られた土地をどう活用すれば最も良い？
- ・ 高架下に悪い人たちの溜まり場にならないかが不安
- ・ 明治用水路（緑道）で分断され、旧東海道の町並みとつながらないのでは
- ・ 個々の開発でこま切れになる気がする

殺風景になるのでは？

- ・ 公園など開けた空間は、開放感が行き過ぎると殺風景な景観にならない？
- ・ キレイだけど無機質な見た目や建物になってしまう
- ・ 夜の飲食店が減少すると賑わいが薄れる
- ・ 土地区画整理事業の結果、既存商店が減少しシャッター街になってしまうのでは？
- ・ 見通しの悪さが心配

賑わうことで治安が悪化するのでは？

- ・ 雑然とした繁華街になってしまうことが不安
- ・ 騒音が心配
- ・ ゴミやポイ捨ての増加により美観が損なわれる
- ・ 治安の悪化が心配

南北の分断

- ・ 南側は今後どうなるの？北側と差がでない？順番に進められると思うけど、どんな計画になっているの？
- ・ 南北が分断されているイメージを未来に引きづらないように。イメージを作っておくことが必要

市の財政や地権者の負担

- ・ 整備するのはよいがお金がかかるので、市の財政が不安
- ・ 維持管理費
- ・ 財政的不安。昼間人口が少ない
- ・ 行政機関、オフィスビル、専門学校、マンション、ビジネスホテルの誘致が必要
- ・ 土地の権利問題
- ・ 土地の整備に必要な費用の捻出は可能か

第1回ワークショップのまとめ

ち 知立らしさとは？

- ・歴史、文化、東海道、、、何を残したいか、何を変えたいか
- ・交通の要として栄えた知立らしい賑わいとは？
- ・知立の顔が何かを考えよう

り 理想の暮らしができるまちの駅とその周辺の役割は？

- ・住んでいる人の居心地の良さを育もう
- ・広場と公園を憩いの空間に、目的が無くてもふらりと寄れるように
- ・まちの回遊性をしかけよう
- ・新しいサービスや技術で暮らしをよくしよう

ゆ 有形（ハード）無形（ソフト）がセットの魅力づくりを！

- ・緑を沢山仕掛けよう
- ・子どもからお年寄りが共存する風景を育もう

う うごきを起こしながら進めていこう！

- ・参加型で計画しよう
- ・できるところからチャレンジしていこう！
- ・市民・企業・行政など参加を促そう



NPO 法人
まちの縁側育くみ隊
代表理事 名畑 恵

アンケートより

(1) ワークショップに参加して

- ・ワークショップは初めて参加しました。初めは不安な気持ちがありましたが、皆様方と意見を交換することで自分自身が気づけなかった新しいことを発見することができました。
- ・活発な意見が出て持て余す時間がなかった。

(2) 話題提供で印象的だったこと

- ・駅周辺に緑の整備をして人が集まりやすい空間づくりが魅力的だった。
- ・とよしばや岡崎のような空間が作られれば良いと思った。社会実験的に知立駅前でも作ればどうかと思う。
- ・拠点を整備することで周辺のまちづくりのきっかけとなる。岡崎市籠田公園が印象的で理想である。きっかけさえしっかりしていれば、まちは創られていくと思った。

(3) ワークショップで印象的だったこと

- ・多文化共生や地域における分断など、知らないことも多く、もっと知立について知りたいと感じた。
- ・まち育ては誰が誰と行うか考えるきっかけができたので、自分なりに考えてみようと思う。
- ・新しいものだけでなく、古いものや雰囲気も大切にまちづくりをしていくにはどうすれば良いか考えたい。

知立駅周辺エリアまち育てワークショップ 振り返り通信 vol.1

発行日：2022年11月19日

発行：知立市市民部 経済課 商工観光係（0566-95-0125（直通） keizai@city.chiryu.lg.jp）

8 協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊